

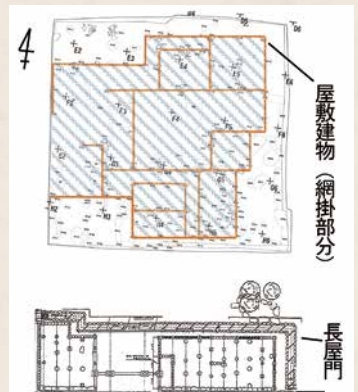
上野城跡(成瀬平馬家
屋敷跡) 発掘調査

昨年11月25日から上野丸之内で、(仮称) 忍者体験施設の建設に伴う予定地の発掘調査を行っています。

調査地は上野城の外堀の内側に位置し、上級武士の屋敷地であったことが判明しています。また、藤堂藩伊賀付家中の加判奉行を務めたこともある「成瀬平馬家」の屋敷地があったことでも知られ、屋敷地の南側には市指定文化財の「成瀬平馬家長屋門」が今も当時の姿をとどめています。



▲発掘調査後全景写真(北から) 円形の礎石跡が規則的に並んでいる。



▲建物復元平面図(1:500)

調査では、江戸時代末期の成瀬平馬家屋敷にかかわる建物跡などが発見されました。

建物の礎石(柱を支える基礎の石)は数石を残してほとんど抜き取られていることがわかり、それらの礎石や抜き取り痕から建物の間取りは右図のように想定されます。建物の柱と柱の距離はほとんどが約2メートルで、これは江戸時代の長さの単位「間」(1間は約2メートル)に相当します。上野城では建物の多くを間単位で建てていたことがわかっており、おそらく上野城内の武家屋敷などでも、上野城と同じ規格を用いて建物が建てられていたでしょう。また、調査地西側では、突き固められた地面とカマドの底が見つかり、建物西側に土間があったと考えられます。

文化財課

☎ 22・9678 FAX 22・9667

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

感染症と人権 ー財政課ー

2020年1月以降、国内の新型コロナウイルスの日別感染者数は増減を繰り返し、収束の兆しは未だ見えてきません。外出の自粛や3密の回避などのさまざまな制約も長期化し、「コロナ疲れ」という新たな言葉も生まれました。そうした先の見えない疲れや不安感から、感染者などを排除しようとするコロナ差別が各地で起こっています。

第一に挙げられるのは、感染者本人やその家族に対する差別です。県内では感染者の家の壁に落書きをする、庭に石を投げ込むといった事象が起きました。こうした差別事象の発生により、周囲からの差別を恐れて、感染したことをなかなか言い出せない人もいと聞きます。

また、医師や看護師などの医療従事者やその家族への差別も起きています。家族に医療従事者がいることで、「公共の場(公園など)に来ないでほしい」

と言われたり、保育園に子どもを迎えに行った際、敷地の中に入れてもらえなかったりしたというものです。

こうしたコロナ差別の解決には、感染症の収束が一番効果的だと思います。しかし、それにはまだまだ時間が必要です。また、たとえ特効薬ができたとしても人々の心の中に潜む差別心までもが無くなるわけではありません。新しいウイルスが生まれれば、同じような差別が繰り返されてしまいます。

私たちが取り組むべきことは、新型コロナウイルスに感染した人や関わっている人々を攻撃することではありません。感染拡大のリスクを減らすよう心がけること。そして、決してコロナ差別をしない、させないこと。それは、特効薬の有無に関わらず、以前の日常を取り戻すために、誰でも今すぐできる取り組みだと思います。

伊賀警察署だより



SNS に起因する犯罪に 巻き込まれないために

春休みから新学期にかけての時期は、進級・進学による生活環境の変化に伴い、子どもたちが犯罪に巻き込まれる危険性が高くなります。

子どもたちが SNS などでも知り合った人に誘い出されてわいせつな行為をされたり、顔や裸の自画撮り画像を送信してしまうなどの犯罪被害が発生しています。

保護者の皆さんは、子どものスマートフォンに有害サイトの閲覧を制限するためのフィルタリングを設定しましょう。また、日頃から家庭でコミュニケーションを取り、子どもにインターネットの危険性を教えることや、スマートフォンを使用するときのルールを家族で一緒に作ることも大切です。

子どもを SNS などに起因する犯罪被害やトラブルから守るために、子どもとしっかり向き合しましょう。

【問い合わせ】

○伊賀警察署 ☎ 21-0110

○名張警察署 ☎ 62-0110

公共交通を利用しましょう



関西本線で ICOCA エリア拡大

3月13日(出)から新たに JR 関西本線加茂駅から亀山駅間で交通系 IC カードが利用できるようになります。IC カードに事前に入金しておけば、車載型 IC 改札機などにタッチするだけで乗降車できます。きっぷの購入や降車時の小銭の準備も不要になり、とても便利です。

これまで、導入を望む声が市にも多く寄せられていました。ICOCA エリア拡大をきっかけに、公共交通を利用しましょう。

※利用方法など詳しくは JR 西日本ホームページをご覧ください。



【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

亀山市

平安絵巻の雅 今ふたたび… ～あいの土山斎王群行 企画展～

平安時代、天皇の即位ごとに天皇の名代として京都から伊勢神宮に派遣された斎王の行列を再現した「あいの土山斎王群行」。新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった今年は、過去 22 回の軌跡をたどる企画展を開催します。斎王・采女などの衣装の展示や、前夜祭・群行当日の映像などを上映します。平安絵巻の雅を感じてみてください。



【と き】 3月21日(日)まで

午前10時～午後5時 ※月・火曜日休館

【ところ】 土山歴史民俗資料館
(滋賀県甲賀市土山町北土山 2230)

【問い合わせ】

あいの土山斎王群行実行委員会事務局
(あいの土山文化ホール内) ※月曜日休館
☎ 0748-66-1602 FAX 0748-66-1603

【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

東海道関宿メモリアルフォトサポート ～関宿で大切な日の写真を撮りませんか～

亀山市フィルムコミッションでは、関宿の伝統的な建物やまちなみで、「結婚式の前撮り」や「成人式」、「七五三」などの記念写真を撮りたい人をサポートしています。



資料館などの施設利用や撮影中の交通整理などのサポート、着替え場所の提供や記念品のプレゼントを、無料で行います。

一生の思い出づくりに、東海道関宿をご利用ください。

【ところ】 亀山市関町木崎～関町新所

【アクセス】 JR 関駅から徒歩約5分

【申込方法】 亀山市観光協会ホームページからお申し込みください。

【問い合わせ】 亀山市フィルムコミッション事務局
(亀山市観光協会内) ☎ 0595-97-8877



【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021